

発行者の 番号・略号	教科書の 記号・番号	教科書名
50 大修館	家庭 046	新家庭基礎 生活の創造をめざして 代表著作者 中間美砂子

1 教科書編修の基本方針

男女共同参画社会，少子高齢社会といわれる中で生きる高校生が，これからの生活課題を解決するに当たって，家庭科を主体的に学ぼうとする意欲がもてるように，家庭科で育成したい能力，学ぶ内容，学ぶ方法などが把握しやすい内容構成としました。

生涯にわたって，自分らしい生活を主体的に創造するために，自らの生活観を確立し，自立できる力を育成するためにはどうすればよいかを考えさせることを基本方針としました。

男女がともに理解し合い，協力し合って，これからの家庭や社会を築くことをめざしました。

子どもや高齢者，障害をもつ人々と家族や地域社会の人々とのかかわりや福祉について考え，ともに生きる生活の重要性に気づき，実践することをめざしました。

生活的に自立するために必要な基礎的な知識・技術について学べるようにしました。

持続可能な社会をめざして，地球規模での環境保全と生活のかかわりについて考えることをめざしました。

自ら生活課題をみだし，主体的に解決する学習方法を重視しました。

2 編修上の留意点・特色

生徒が主体的に学習できる工夫をしました。

学習意欲をもたせるために，各章の扉に学習の手がかりになる文章を入れました。

自分自身で学習計画が立てられるように，各大項目のはじめに，学習の手がかりになるイラストと学習のねらいを示しました。

生活課題を自分自身の問題として考えられるよう，各項目の記述に当たっては，「あなたは」という呼びかけ型で始めるようにしました。

主体的に学習するために便利のように，学習資料として，最適な図表等の資料や用語解説，側注，Follow Up，参照ページなどを設けました。

発展的学習を期待して，各項目ごとにTRY・HINT，実習を，各章の巻末には，「テーマ」「課題」を設けました。

3 教科書内容の組織・配列と学習指導要領との関連

教科書の内容構成	教科書構成上の特徴	学習指導要領の内容
はじめに	「家庭基礎」を学ぶことにより、どのような力がつくのか、どのような内容をどのように学ぶのかについて述べた。	
第1章 人生をみつめる ----- 1 自分の生活をみつめよう 2 人生を展望しよう	自分自身の現在の生活をみつめ、さらに、人生を展望することの重要性について考えることができるよう工夫した	(1)人の一生と家族・福祉 ----- ア 生涯発達と家族
第2章 とともに生きる 家族をみつめる ----- 1 家族・家庭をみつめよう 2 家庭生活と社会について考えよう	家族・家庭生活、家庭生活と社会について考え、認識できるように工夫した。	
子どもを育てる ----- 1 子どもの成長・発達と生活について知ろう 2 親になることを考えよう 3 子どもの人権と福祉について考えよう	子どもの発達と生活について知ることにより、子どもへの関心をもてるよう配慮した。また、親になること、子どもの人権と福祉など、家庭内での子育てだけでなく、社会での子育てのありかたについて考えることができるよう工夫した。	イ 乳幼児の発達と保育・福祉
高齢者と生きる ----- 1 高齢者の生活をみつめよう 2 高齢者の福祉について考えよう 3 これからの高齢社会を考えよう	高齢者の生活をみつめることにより、高齢者の福祉について考えられるよう配慮した。また、これからの高齢社会へ自分たちはどう対応すればよいかについて考えることができるよう工夫した。	ウ 高齢者の生活と福祉
第3章 資源をいかす ----- 1 家庭の経済生活をみつめよう 2 消費生活について考えよう 3 消費者の権利と責任について調べよう 4 環境に調和した生活をしよう	暮らしを支えている家庭の経済生活を知り、主体的に消費生活を営むことの重要性について考えるよう工夫した。さらに、消費者の権利と責任について調べ、持続可能な消費についてどのようにすれば実現が可能かを考え、資源・環境をいかした行動をおこなうことができるよう工夫した。	(3)消費生活と環境 ----- ア 家庭の経済と消費 ----- イ 消費行動と環境
第4章 生活を営む 食生活を営む ----- 1 食生活をみつめよう 2 健康な食生活のために 3 安全な食生活のために 4 食事をつくってみよう 5 これからの食生活を考えよう	食生活をみつめ、健康で安全な食生活を営むための科学的な知識を得られるよう配慮した。そのうえで、家族の日常の食事づくりの実習を通して、これからの食生活のありかたについて考えることができるよう工夫した。	(2)家族の生活と健康 ----- ア 食生活の管理と健康
衣生活を営む ----- 1 衣生活をみつめよう 2 健康で個性的な衣生活のために 3 これからの衣生活を考えよう	衣生活をみつめ、健康で快適な衣生活について考えられるよう配慮した。そのうえで、これからの衣生活について展望がもてるよう工夫した。	イ 衣生活の管理と健康
住生活を営む ----- 1 住生活をみつめよう 2 健康で安全な住生活のために 3 これからの住生活を考えよう	住生活についてみつめ、健康で安全な住生活を営むための科学的な知識を得られるよう配慮した。そのうえで、これからの住生活を考えることができるよう工夫した。	ウ 住生活の管理と健康
第5章 生活をつくる ----- 1 生活を創造しよう ----- 2 生活を改善しよう	これまでの学習生活を基盤として、主体的に自分の生活を創造することの重要性について考えられるよう配慮した。また、これまでの学習成果をホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を通して、家庭や地域で実践できるよう工夫した。	(1)人の一生と家族・福祉 ----- ア 生涯発達と家族 ----- (4)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動